一九四一年六月二十一日

國務長官ハ日米兩國間ニ一層良好ナル了解ヲ招來シ且太平洋地域ニ於テ平和ヲ樹立スルタメ日本大使及其ノ同僚ニ依リ爲サレタル眞摯ナル努力ヲ多トス、同長官ハ又屢次ノ會談ヲ通シ之等ノ人々ノ態度ヲ特徴ツケタル率直サヲ多トス

本政府ハ日米兩國間ニ一層良好ナル關係及太平洋地域ニ於ケル平和狀態ノ招來ヲ念願スルコトニ於テ日本大使ニ劣ラス且國務長官ハ右精神ニ於テ日本國政府ノ有ラユル觀點ニ付慎重ナル研究ヲ爲セリ

日本國ハ兩國ノ一方カ供給シ得テ他方カ必要トスルカ如キ物資ヲ相互ニ供給スヘキコトヲ保障スヘシ兩國政府ハ更ニ曾テ日米通商航海條約ニ基キ樹立セラレ居タルカ如キ正常ノ通商關係ヲ恢復セシムルニ必要ナル措置ヲ講スルコトニ同意ス、若シ新通商條約カ兩國政府ニ依リ希望セラルルトキハ右ハ出來得ル限リ速カニ交渉セラルヘク且通常ノ手續ニ從ヒ締結セラルヘシ

五、太平洋地域ニ於ケル兩國ノ經濟的活動

太平洋方面ニ於ケル日本國及米國ノ活動ハ平和的手段ニ依リ且國際通商關係ニ於ケル無差別待遇ノ原則ニ遵ヒ行ハルヘシトノ茲ニ爲サレタル相互的誓約ニ基キ日本國政府及合衆國政府ハ兩國カ夫々自國經濟ノ保全及發達ノタメ必要トスル天然資源ヘノ例ヘハ石油、護謨、錫、「ニッケル」ノ商業的供給ノ無差別的均霑ヲ受ケ得ル樣相互ニ協力スヘキコトヲ約ス

六、太平洋地域ニ於ケル政治的安定ニ關スル兩國ノ方針

兩國政府ハ本了解ノ基調ヲ爲ス支配的方針ハ太平洋地域ニ於ケル平和ナルコト、協力的努力ニ依リ太平洋地域ニ於ケル平和ノ維持及保全ニ貢獻スルハ兩國政府ノ根本目的ナルコト並ニ兩國ノ何レモ前記地域ニ於テ領土的企圖ヲ有セサルコトヲ聲明ス

七、比律賓群島ノ中立化

日本國政府ハ合衆國政府カ希望スル時期ニ於テ合衆國政府ト比律賓ノ獨立カ完成セラルヘキ際ニ於ケル比律賓群島ノ中立化ノタメノ條約締結ヲ目的トスル交渉ニ入ル用意アルコトヲ聲明ス

電信寫 極秘 398 see page 382 (322) 12 1383 外機密

一九四一年六月二十一日

國務長官ハ日米兩國間ニ一層良好ナル了解ヲ招來シ且太平洋地域ニ於テ平和ヲ樹立スルタメ日本大使及其ノ同僚ニ依リ爲サレタル眞摯ナル努力ヲ多トス、同長官ハ又屢次ノ會談ヲ通シ之等ノ人々ノ態度ヲ特徴ツケタル率直サヲ多トス

本政府ハ日米兩國間ニ一層良好ナル關係及太平洋地域ニ於ケル平和狀態ノ招來ヲ念願スルコトニ於テ日本大使ニ劣ラス且國務長官ハ右精神ニ於テ日本提案ノ有ラユル觀點ニ付愼重ナル研究ヲ爲セリ

國民政府ハ多數日本ノ有識者カ上述セルカ如キ日本大使及其ノ同僚ノ見解ト所見ヲ同シクセラレ且之等崇高ナル目的達成ノタメノ行動ヲ支持セラルルナランコトヲ疑フ理由ヲ有セス、不幸ニシテ政府ノ有力ナル地位ニ在ル日本ノ指導者中ニハ國家社會主義ノ推進及其ノ征服政策ノ支持ヲ要求スル道路ニ對シ熱意少ナラサル者賞ヲ與ヘ居ルモノアルコト及之等ノ人カ最忌スヘキ米國トノ了解ノ唯一ノ保障ハ米國カ自衛ニ關スル現在ノ政策ヲ實行スルコトニ依リ欧洲ノ戰闘行爲ニ捲込マルルカ如キ場合ニハ日本カ「ヒトラー」ノ側ニ於テ戰フコトヲ豫見スルカ如キモノナルヘシトノ確證カ長年ニ亙リ日本ニ對シ真摯ナル好意ヲ表シ來レル筋ヨリノ報告ヲ含ム世界中有ラユル筋ヨリ續々本政府ニ寄セラレツツアリ

日本政府ノ「スポークスマン」ニ依リ屢次ニ為サレタル三國同盟ノ下ニ於ケル日本ノ誓約及意圖ヲ強調セル最近數次ノ公式聲明ノ趣旨ハ、看過シ得サル或ル態度ヲ例證シ居レリ、斯カル指導者カ公ノ地位ニ於テ斯カル態度ヲ維持シ且公然ト日本ノ進路ヲ上述ノ方向ニ動カサント努ムル限リ現在考究中ノ如キ提案ノ採擇カ希望セラルル方向ニ沿ヒ實質的結果ヲ收ムルタメノ基礎ヲ提供スヘシト期待スルハ幻滅ヲ感セシムルコトトナルニ非スヤ

日本側提案中疑惑ノ他ノ原因ハ支那政府ニ提示セラルヘキ日本政府ノ和平解決ノ條件中ニ共産運動ニ抗スルタメノ支那トノ協力措置トシテ内蒙及北支ノ一定地域ニ於テ日本軍隊ノ駐屯ヲ認ムヘキ規定ヲ挿入セシメントスル日本政府ノ要望ニ關スルモノナリ

本政府ハ日本政府ヲシテ斯カル提案ヲ為スニ至ラシメタル事情ニ關シ慎重ナル考究ヲ加ヘタルト共ニ斯カル提案ノ是非ノ審議ニ入ルコトヲ欲セサルモ、日本大使及其ノ同僚ニ對シ幾多ノ場合ニ於テ說明セル如ク米國カ堅持スル自由主義的政策ハ、米國政府ヲシテ之等ノ政策ト矛盾スルカ如ク思ハルル如何ナル進路ニモ同調スルコトヲ容認セサルヘシト思惟ス、更ニ又單ニ當國ノミニ影響アル事柄ニ關シテハ權利放棄ノ決定上若干ノ裁量ノ餘地アリト雖モ、茲ニ審議中ノ事項ハ第三國ノ主權ニ影響スルモノナルヲ以テ本政府ハ斯カル事項ヲ處理スルニ當リテハ最モ慎重タラサルヲ得スト感セラル

故ニ國務長官ハ本政府ハ日本政府カ全體トシテ了解案ノ目的ヲ撤

廃スルカ如キ平和的進路ノ追及ヲ希望スルモノナルコトニ關シ現在迄ニ與ヘラレタルヨリモ一層明白ナル何等カノ指示ヲ期待セサルヲ得ストノ結論ニ遺憾乍ラ到達セリ、本政府ハ日本政府カ斯カル態度ヲ表明セラレンコトヲ眞ニ希望スルモノナリ

註－米國ノ態度ノ關スル限リ現會談ヲ最新ノ事態ニ合致セシメムカ爲五月三十一日日本大使ニ手交セラレタル「非公式試案ニシテ拘束力ナシ」ト記載セル文書ノ六月二十一日附修正案ヲ別ニ日本大使ニ手交スルコトトセリ

電信寫

401

部内第~~拾五~~拾五號

1383

極秘

外機密

對ニ[illegible]六月二十一日[illegible]

ハ(1)第二章「歐洲戰爭ニ對スル兩國政府ノ態度」ニ關聯シ別紙甲號ノ如キ自衛權ニ關スル公文ヲ交換スルコト及(2)第三章「日支間ノ和平解決ニ對スル措置」中日支間ノ經濟協力ニ關聯シ日本以外ノ第三國ニ對シテモ無差別待遇ヲ爲スコトニ關シ別紙乙號ノ如キ質問ヲ我方ニ提示シ我方ヨリ書翰ヲ以テ之ニ回答スルコト致度旨申出タリ右ニ對シ在米大使ハ右ハ何レモ我方ノ見解ト餘リニ懸隔アリトテ本國政府ヘ之カ取次ヲ拒否セル經緯アリ然レ共右文書ハ米側ノ考ヘ方ヲ了解スル上ニ役立ツヘシト認メラレタルヲ以テ強ヒテ在米大使ヲシテ電報セシメ玆ニ移錄セル次第ナリ

（別紙甲號）

國務長官ヨリ日本國大使宛

本日日米兩國政府ニ代リテ公表シタル共同宣言第二章ニ於テ歐洲戰爭ニ對スル兩國政府ノ態度ニ關シ「ステートメント」ヲ爲シタリ本共同宣言ノ締結ニ導キタル非公式會談中本長官ハ貴大使ニ對シ幾多ノ機會ニ於テ歐洲ニ於ケル戰鬪行爲ニ對スル合衆國政府ノ態度及方針ヲ說明シ且右態度及方針ハ奪フヘカラサル自衞ナル權利ニ基ケルモノナルコトヲ指摘シタリ、本長官ハ本問題ニ關スル本政府ノ立場ヲ充分ニ闡述シ居ル四月二十四日ノ演說ニ對シ特別ノ注意ヲ喚起シタリ

本長官ハ貴大使カ歐洲戰爭ニ對スル本政府ノ態度ヲ充分了知セラレ居ルコトヲ確信スルモノナリ然レ共何等誤解ナカラシメンカ爲

本長官ハ再ヒ同問題ニ言及スル次第ナリ、本長官ハ既ニ上記ノ如ク演述セル自國ノ安全ノ防衞ノ爲合衆國カ採擇スルヲ餘儀ナクセラルルカ如キ措置ニ關シ、日本國政府ハ太平洋地域ニ於ケル平和ヲ樹立シ且保全スヘシトノ本協定ノ根本目的ニ違背シ又ハ之ヲ破壞スルカ如キ何等カノ措置ヲ採ルコトヲ要スヘキ何等ノ約束ヲモ爲シ居ラサル旨ノ日本國政府ノ確認カ貴大使ヨリ得ラルレハ欣快トスル所ナリ。

日本國大使ヨリ國務長官宛

本大使ハ六月　附貴長官ノ書翰ヲ接受セリ

本大使ハ本國政府ヘ吾々ノ最近ノ會談中貴長官ニ依リ說明セラレ

又貴長官ノ四月二十四日ノ演説中ニ陳述セラレタルカ如キ歐洲ニ於ケル戰鬪行爲ニ對スル合衆國政府ノ態度ヲ充分承知シ居ル旨貴明致度シ、本大使ハ合衆國政府ノ方針ニ付本大使ニ説明セラレタル通リ之ヲ本國政府ニ報告スルコトヲ怠ラサリキ、又本大使ハ本國政府ハ歐洲戰爭ニ關スル合衆國政府ノ態度及立場ヲ了解シ且之ヲ正當ニ評價シ居ル旨貴長官ニ確言致度シ

本大使ハ又合衆國政府カ自國ノ安全ヲ防衞スル爲ニ採擇スルヲ餘儀ナクセラルルカ如キ措置ニ關シ、日本國政府ニ於テ本協定ノ根本目的ニ違背シ又ハ之ヲ破壞スルカ如キ何等カノ措置ヲ採ルコトヲ要スヘキ何等ノ約束ヲモ爲シ居ラサル旨貴長官ニ確言致度シ

日本國政府ハ本協定ノ締結ニ依リ自由ニ受諾シタル責任ヲ充分ニ

認識シ太平洋地域ニ於ケル平和ノ樹立及保全ニ害アル何等ノ措置ヲモ採ラサル決意ヲ有ス

（別紙乙號）

(一)日本國及支那國間ノ「經濟的協力」ナル字句ハ、合衆國及他ノ第三國ノ政府及國民ニ比較シテ日本國政府及日本國民ニ有利ナル差別待遇ヲ爲スヘキ何等優先的若ハ獨占的權利ヲ支那國政府カ日本國政府又ハ其ノ國民ニ對シ賦與スルコトヲ豫定シ居ルモノナリヤ。日支間ノ和平解決ノ爲ノ交渉開始ト同時ニ北支開發會社及中支振興會社竝ニ其ノ支社（複數）ノ如キ日本ノ特殊會社カ日本國政府ノ支持ノ關係シ居ル限リ、日本ノ軍事的占領下ニ在ル支那ノ地域内ニ於ケル現存ノ環境ノ故ヲ以テ之等ノ會社カ實際上行使シ若ハ之等ニ自ラ歸屬スヘキ如何ナル獨占的若ハ其他ノ優先的權利ヲモ喪失スヘシト豫定セラレ居ルヤ

(二)日本ノ軍事的占領下ニ在ル支那領土内ニ於ケル第三國國民ノ貿

電信寫 444

外機密

極秘

米國修正案

（六月二十一日附）

USA's amendment draft on June 21

合衆國及日本國政府ハ傳統的友好關係恢復ノ爲共同宣言ニ於テ表現セラルルカ如キ了解ニ關スル一般的協定ノ交渉開始及締結ノ爲共同ノ責任ヲ受諾ス

兩國國交ノ最近ノ疏隔ノ特定原因

日本國修正案

（七月十五日附在米大使館回電）

Japan's amendment draft on July 15

合衆國及日本國政府ハ傳統的友好關係恢復ノ爲共同宣言ニ於テ表現セラルルカ如キ了解ニ關スル一般的協定ノ交渉開始及締結ノ爲共同ノ責任ヲ受諾ス

兩國國交ノ最近ノ疏隔ノ特定原因

404A

易及旅行ノ自由ニ關スル現行ノ諸制限ニ關シテ凡ソ如何ナル制限カ重慶政府カ日本國政府ト交渉ヲ開始スルト同時ニ撤廢セラレ又如何ナル制限カ後日撤廢セラルルカニ付日本國政府ハ指示セラレ得ヘキヤ尤モ右各場合ニ付出來得ル限リ諸制限ノ撤廢カ效力ヲ生スヘキ大體ノ時期ヲ指示セラルヘキモノトス

（三）支那國政府カ貿易通貨及爲替ニ關スル事項ニ付充分且完全ナル支配權ヲ行使スヘキコトハ日本國政府ノ意圖スルトコロナリヤ。支那ニ於テ流通シツツアル日本國ノ軍票及日本カ後援スル支那諸政權（複數）ノ紙幣ヲ回收且抑制スルコトハ日本國政府ノ意圖スルトコロナリヤ。日本國政府ハ豫定セラルル交渉開始ノ後前記目的ノ取極カ同政府ノ意見ニ於テ如何ニ速ニ實行セラレ得ヘキカヲ指示セラレ得ルヤ